

お知らせ:次回発信日は10月20日(週報(予定))

Jミルクが2023年9月29日に公表した「需給見通し(※2023年8月迄実績)」の予測値と実績(牛乳乳製品統計)をグラフ化しています。

「牛乳乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も毎月配信していきます。

発行:一般社団法人Jミルク生産流通グループ

「8月は記録的な猛暑により、生乳生産量は急減、飲用等向にも一定程度寄与した可能性～引き続き需要拡大は必須～」

・8月の生乳需給実績は、飲用等向は前年比▲4.2%となったものの、観測以降過去最高の記録的な猛暑となった影響を受けて、生乳生産量は北海道、都府県ともに今年度最大の減少率となり、全国では▲5.9%となった。飲用等向よりも生産量の減少幅が大きく、乳製品向についても今年度最大の減少率となった。全国指定団体受託乳量(速報)では、9月以降徐々に暑さがやや和らんでいることから減少率は縮小しており、9月統計の生産量はやや回復している可能性が高い。なお、北海道では、今年度産の粗飼料の質・量に期待がかかるが、一方で乳牛への暑熱ダメージによる個体乳量の低下が懸念され、今後の生産量について判断を持って見通すのは難しい状況となっている。

・脱脂粉乳とバターは、両品目ともに出荷量は前年を下回ったものの、乳製品向仕向量の減少による脱脂粉乳とバターの生産量減少が大きく、在庫量は前月よりも減少した。脱脂粉乳は全国協定の在庫削減策が出荷量を一定程度押し上げているものの、対策を除く実需は低調に推移しており、年度末在庫量は依然として高い水準が見込まれている。2023年度も在庫解消対策継続による消化が必要な状況となっている。バターは、国内旅行者・インバウンドが増加しており、業務用を中心に需要は堅調に推移しているなか、引き続き消費動向を注視し、需要に対応した安定供給に努めることが重要となる。

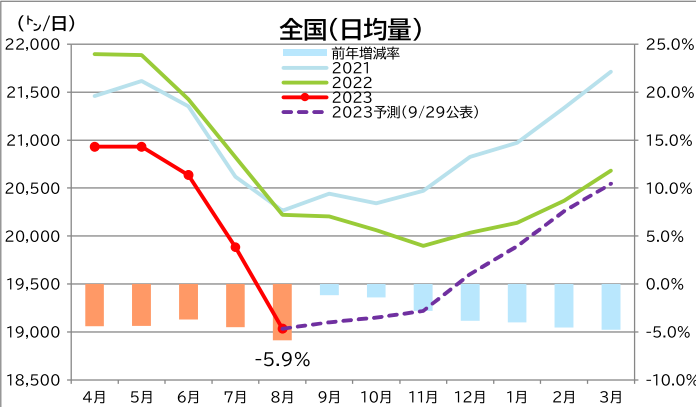
・10/2週の牛乳類の販売動向は、前週(9/25週)と比較して減少した。例年、夏場をピークに販売個数は漸減していく時期に加え、8月からの価格改定の影響や多くの地域で6月上旬以来4か月振りに気温が平年以下となり、冷涼な気候になったことが消費を押し下げたと考えられる。はちみつについても前週よりも販売個数が減少しており、牛乳類同様に気温の低下が需要に影響を及ぼした可能性がある。なお、成分調整牛乳、ドリンクタイプのはちみつは、今年度最小の販売個数となった。価格に優位性のある乳飲料へのシフトの動きは引き続きみられており、業態別でも販売単価が安価な水準であるホームセンター、ドラッグストアチェーンは前年を上回って推移していることから、購入業態の移行が確認される。

・インバウンドは徐々に回復しており、中国団体客増加の伸びしろを踏まえると、現状以上の業務用需要の増加が期待される。一方、家庭内需要は10月を迎え、全国的に気温が低下しているなか、物価高による値上げ疲れや買い控え、牛乳乳製品の価格改定の背景等の理解と体調を崩しやすい季節に栄養バランスの取れた食生活に貢献すること等を丁寧に説明するとともに、これまで以上に業界内外を巻き込んだ需要拡大に一層取り組むことが重要となる。

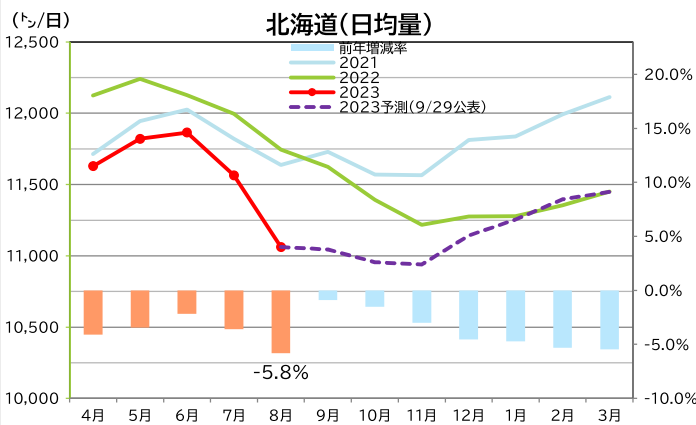
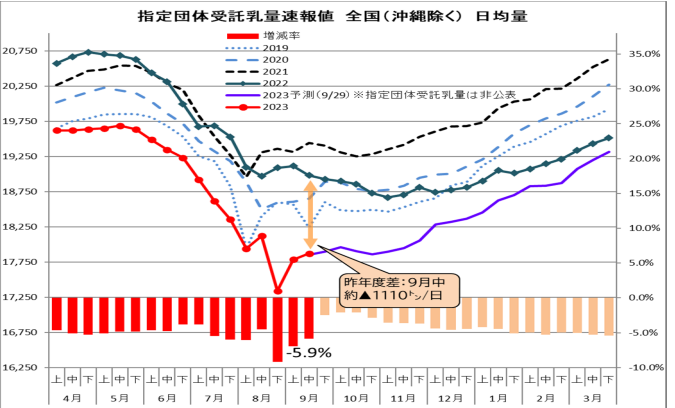
【生乳生産量】※増減率は、日均量で算出。

(1)8月の生乳生産量は、全国590.1千ト(前年同月比94.1%)、北海道342.9千ト(同94.2%)、都府県247.1千ト(同94.1%)。

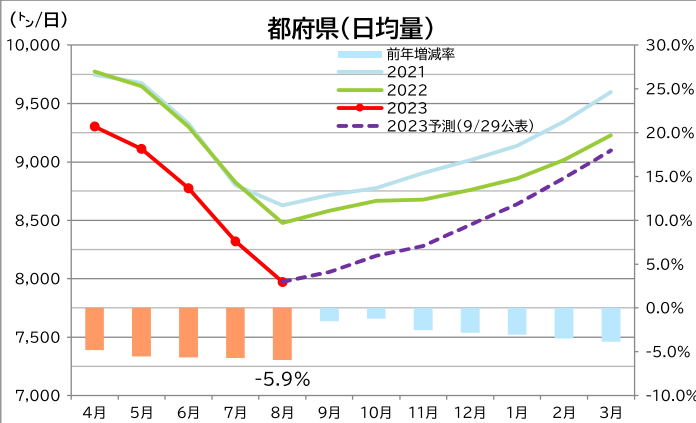
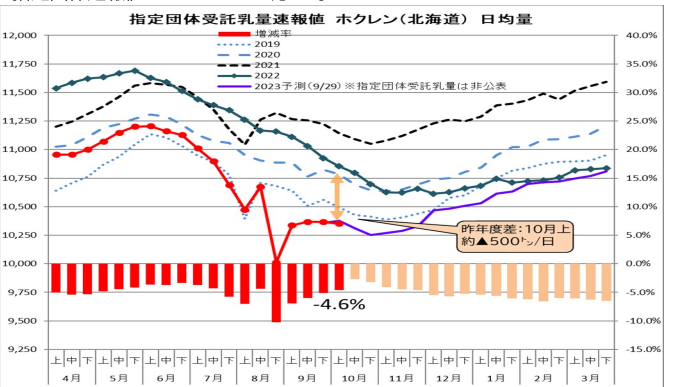
(2)直近の指定団体速報値は全国が9月中旬で同94.1%、都府県(沖縄除く)が同94.4%、北海道は10月上旬で95.4%となった。



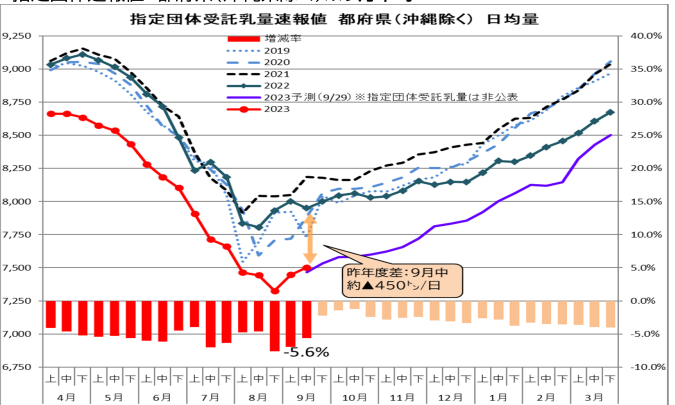
指定団体速報値 全国(沖縄除く)※9月中旬



指定団体速報値 ホクレン※10月上旬



指定団体速報値 都府県(沖縄除く)※9月中旬

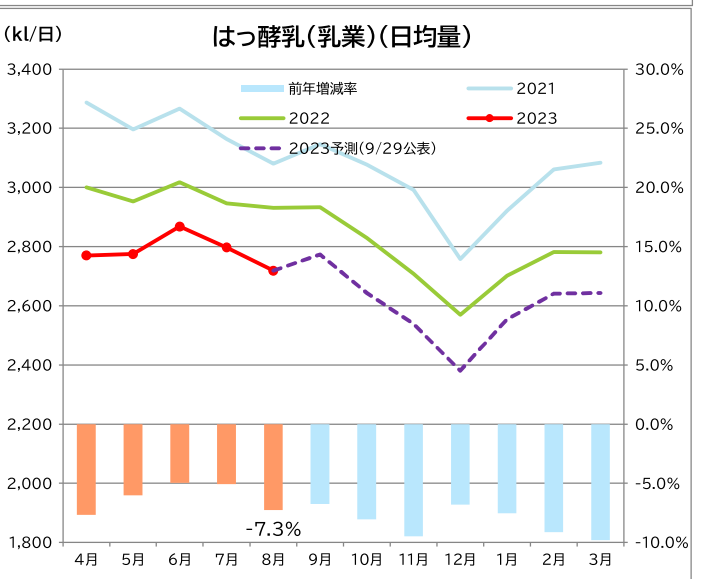
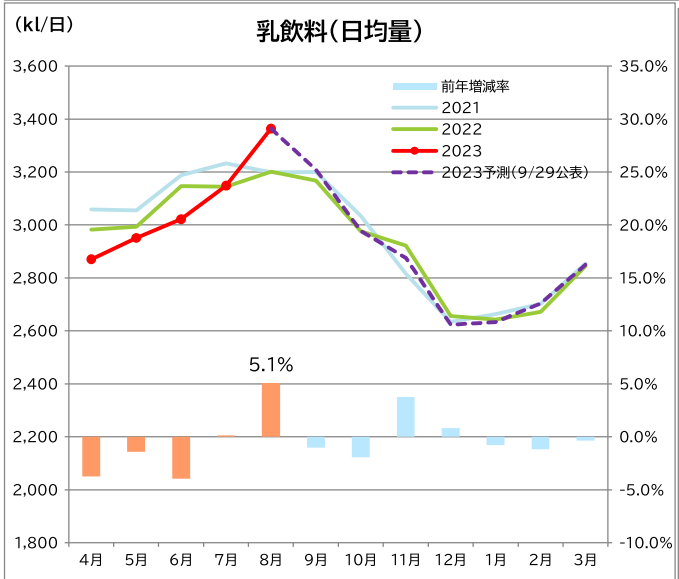
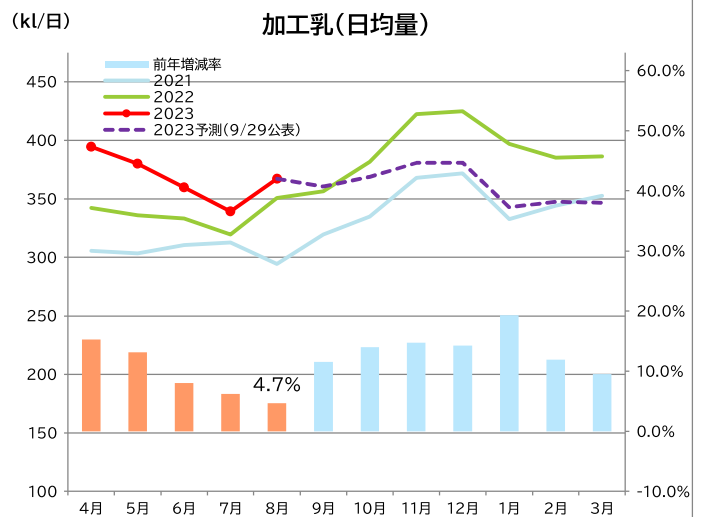
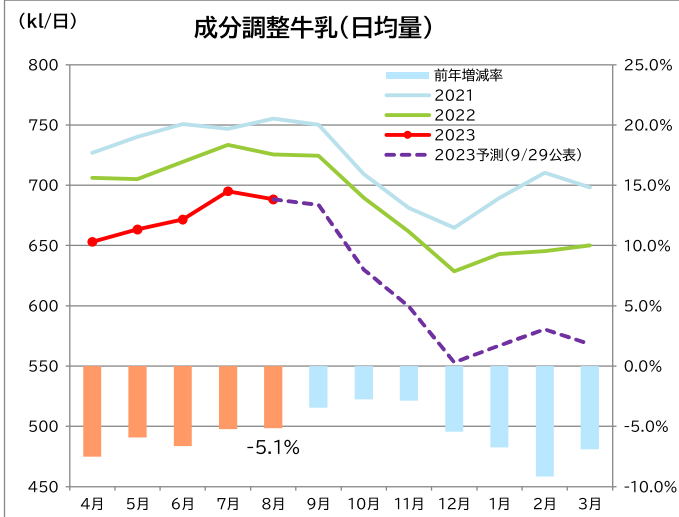
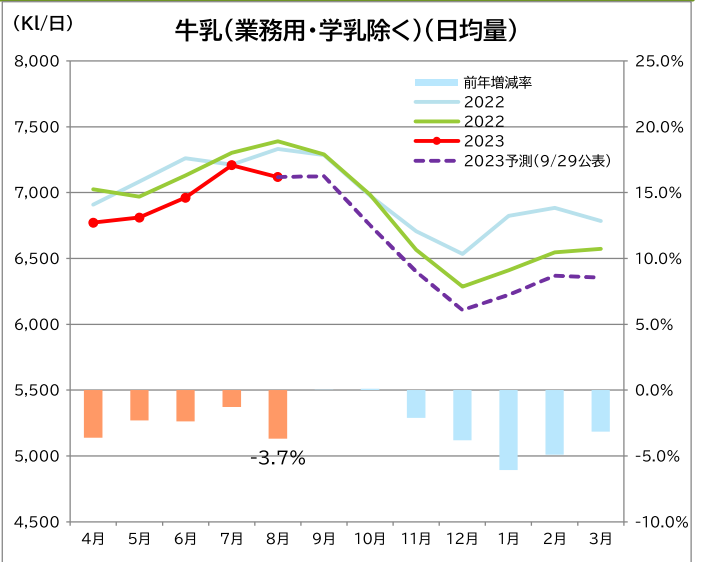
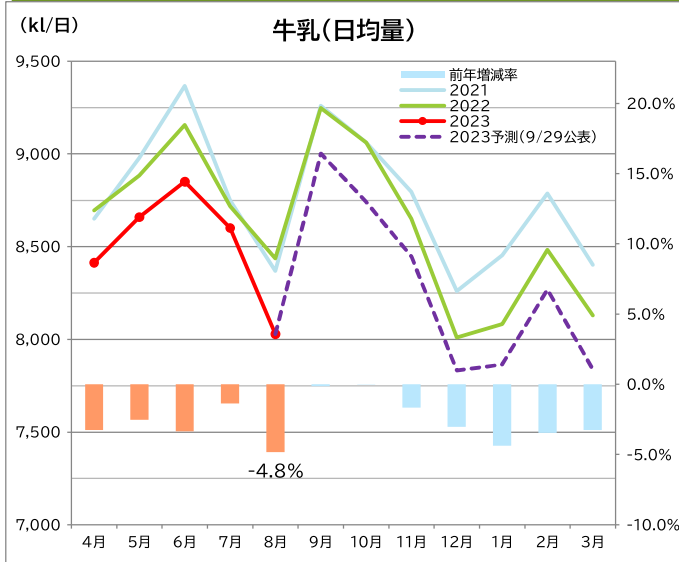


【牛乳等生産量】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)8月の牛乳等生産量は、牛乳248.9千kl(前年同月比95.2%)、成分調整牛乳21.3千kl(同94.9%)、加工乳11.4千kl(同104.7%)、乳飲料104.3千kl(同105.1%)となり、牛乳類合計(牛乳・成分調整牛乳・加工乳・乳飲料)では385.9千kl(同97.9%)となった。

(2)「牛乳」のうち、「業務用以外」は、同96.3%、「業務用」は同86.2%、「学乳」は90.6%。

(3)はっ酵乳(乳業)は84.3千kl(同92.7%)と前年を大きく下回って推移している。

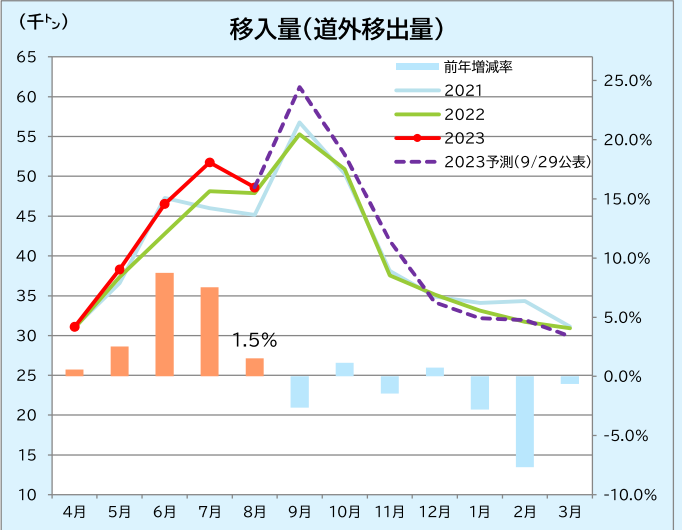
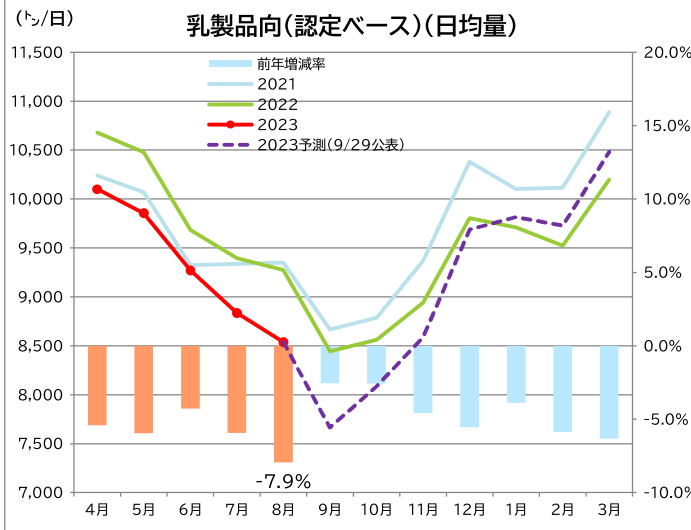
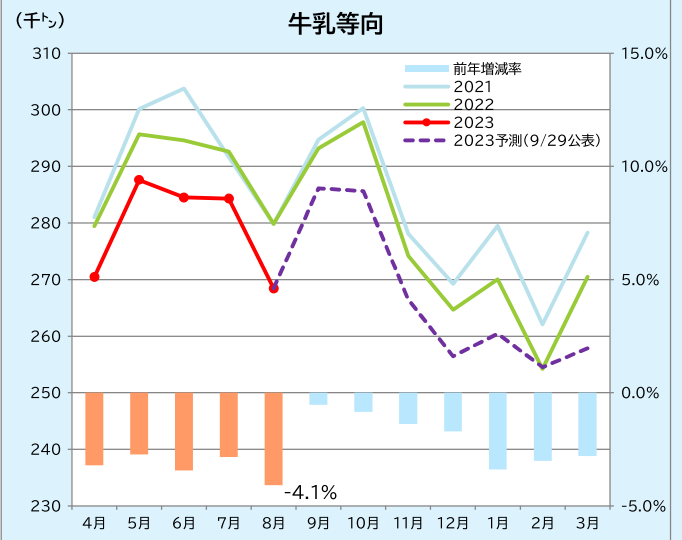
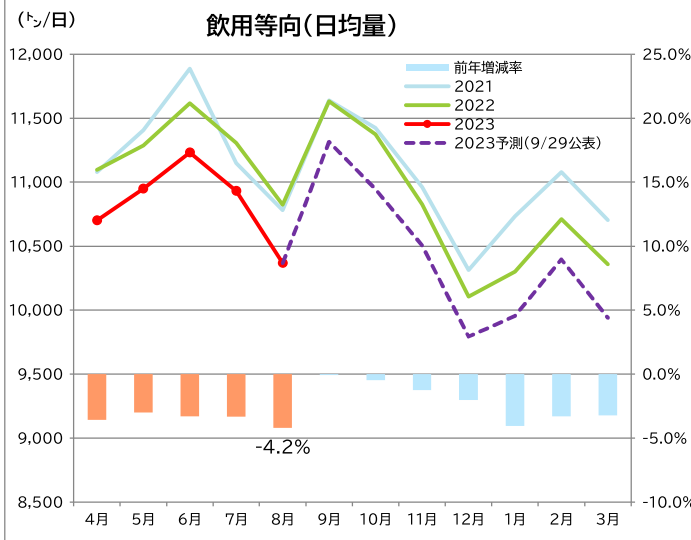
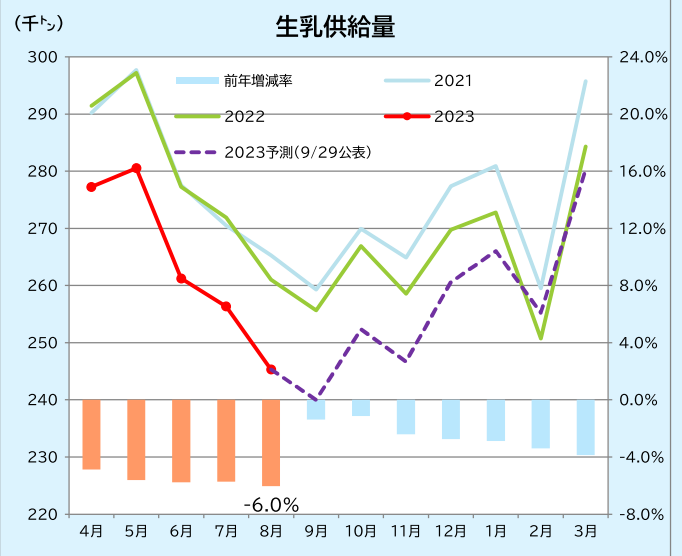
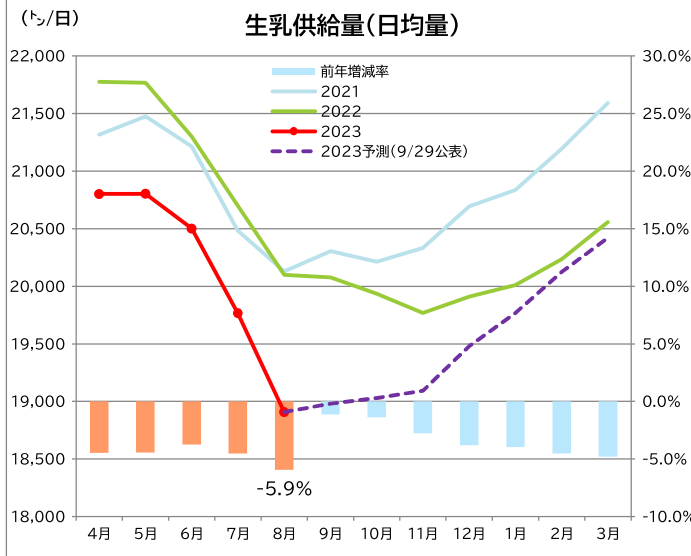


【用途別処理量(全国)】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)8月の生乳供給量は586.1千ト(前年同月比94.1%)、飲用等向321.4千ト(同95.8%)、乳製品向(認定ベース)264.7千ト(同92.1%)。
 (2)飲用等向、生乳供給量ともに前年を下回ったが、生乳供給量の減少量の方が大きく、乳製品向は前年を大きく下回った。

【都府県の生乳需給】

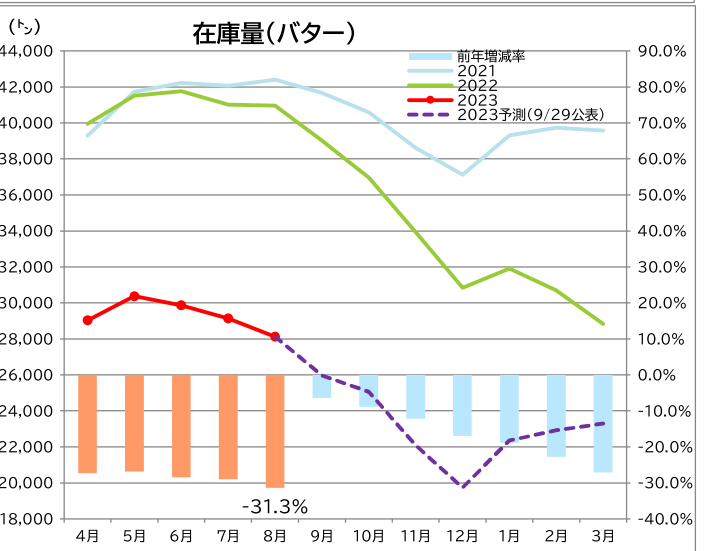
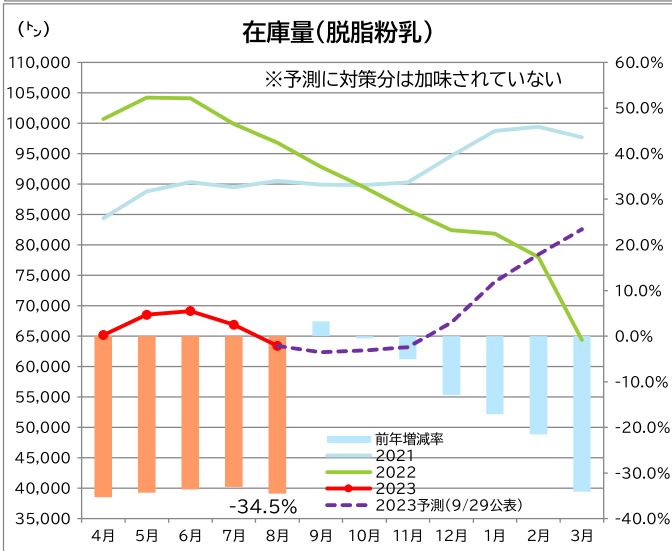
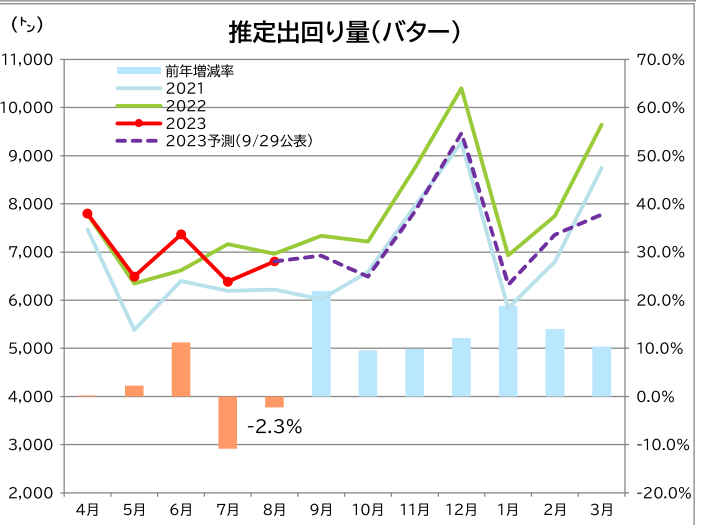
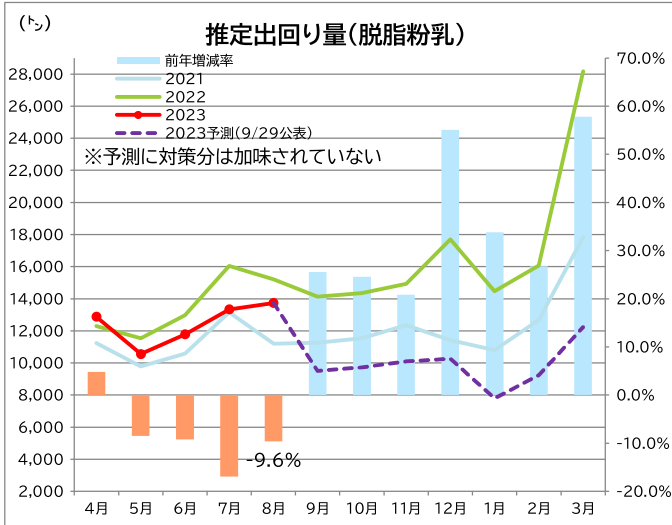
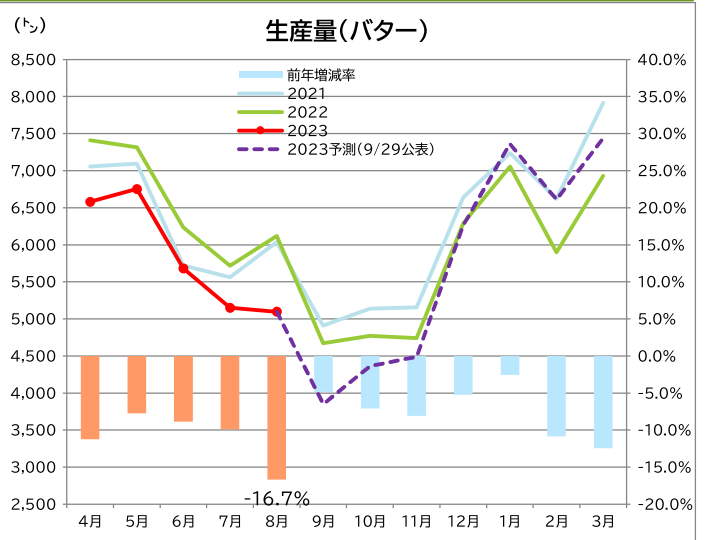
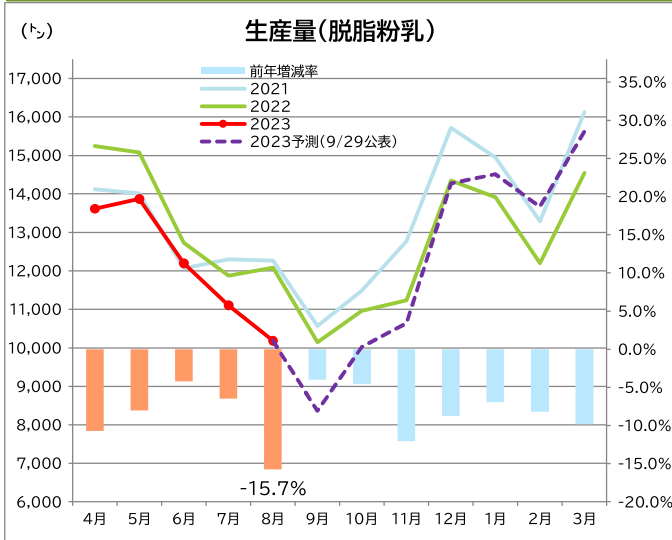
(1)8月は、生乳供給量245.3千ト(前年同月比94.0%)、牛乳等向268.4千ト(同95.9%)。
 (2)北海道からの移入量について、生乳供給量の減少が大きく48.6千ト(同101.5%)と前年を上回った。



【脱脂粉乳・バター需給】

(1)脱脂粉乳について、8月の生産量は10.2千ト(前年同月比84.3%)、推定出回り量は13.7千ト(同90.4%)となった。出回り量の方が生産量を上回ったことで、在庫は前月よりも3.5千ト程度減少し、結果在庫量は63.4千ト(同65.5%)となった。在庫量は昨年の5月をピーク(104.2千ト)から在庫対策等の効果により3月には64.4千トまで減少、今年度の在庫削減対策の効果等により6ヶ月連続で6万ト台を維持している。9月29日にJミルクより公表した需給見通しでは、在庫対策を講じない場合、在庫量は83千ト程度と依然として高水準になると予測している。これまで以上に牛乳乳製品の需要拡大や理解醸成活動による消費の底上げを図るとともに、全国の生産者・乳業者が協調して取り進める在庫削減対策による国産脱脂粉乳の国内需要拡大や輸出など、引き続き最大限取り進める必要がある。

※推定出回り量は全国協調の在庫対策による国産脱脂粉乳への置換分を含む。
 (2)バターについて、8月の生産量は5.1千ト(同83.3%)、推定出回り量は6.8千ト(同97.7%)となった。国家貿易による輸入売渡分を考慮しても、出回り量が生産量を回っていることから、在庫量は28.1千ト(同68.7%)と前月よりもやや減少した。在庫量は16ヶ月連続で前年を下回っており、引き続き消費動向を注視し、国家貿易による対応も含めて需要に対応した安定供給に努める必要がある。



【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI+】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)9月の動向(表①参照)

・販売個数は、牛乳:前年同月比96.5%、成分調整牛乳:同81.9%、加工乳:同100.0%、乳飲料:同108.0%。

牛乳類では同97.1%

【参考】2021年9月比…牛乳:94.3%、成分調整牛乳:79.5%、加工乳:97.9%、乳飲料:105.0%(牛乳類トータル:94.8%)

・販売単価は、牛乳:215.3円、成分調整牛乳:208.4円、加工乳:222.1円、乳飲料:172.9円。

(2)直近の週次動向(表②・グラフ参照)

・直近(10/2週)の販売個数は、牛乳:前年同期比95.9%、成分調整牛乳:同81.4%、加工乳:同102.9%、乳飲料:同107.7%。

牛乳類トータルでは同96.7%

※出典 ㈱インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 牛乳類の月別販売動向】

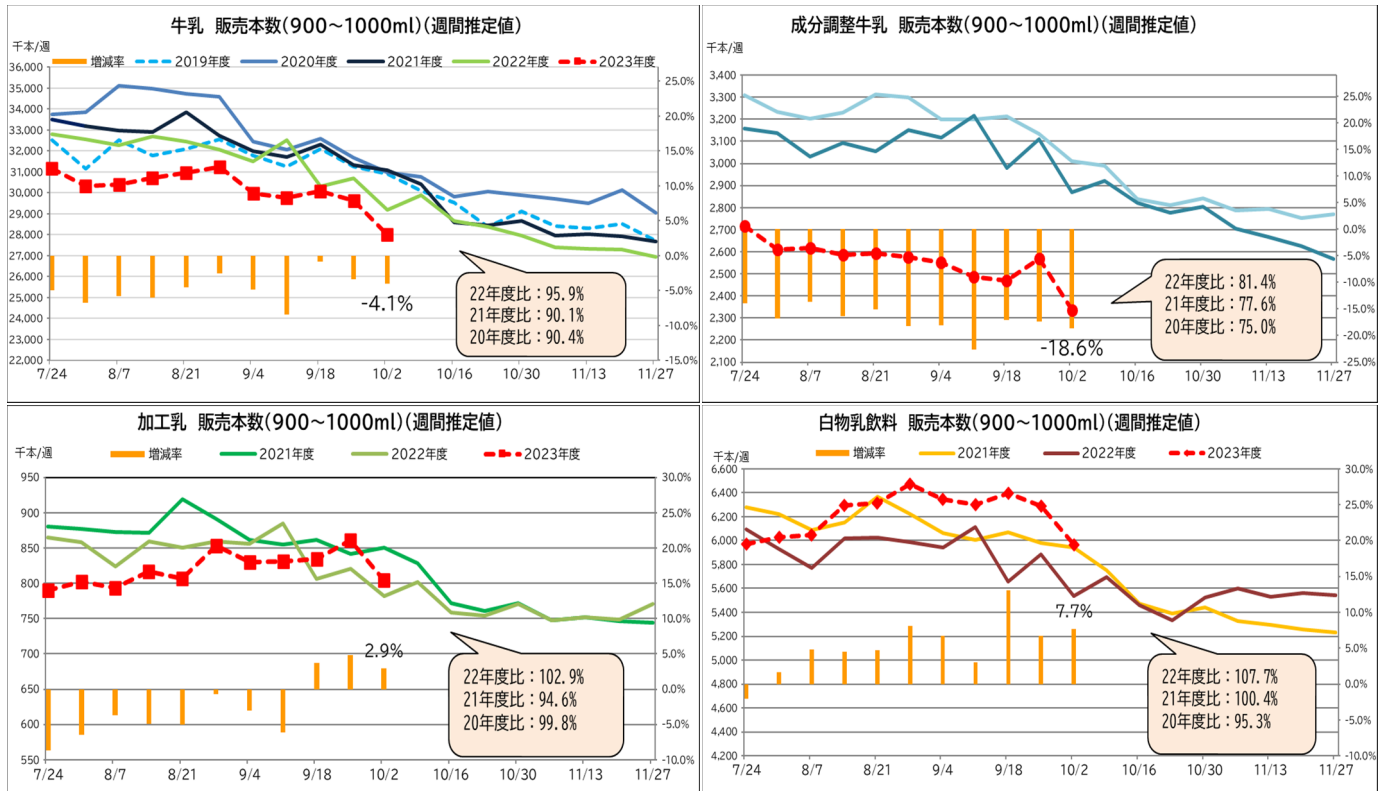
単位:千個、円

品目	区分	2023/4-	2023/5-	2023/6-	2023/7-	2023/8-	2023/9-	2023/9- 2022/10価格差	2023/9- 2023/3価格差	2023/9- 2023/7価格差
		トータル	販売個数	157,169	164,698	162,636	177,890	177,435	170,560	34.0
	販売個数前年比	96.0	95.7	95.1	95.5	94.8	97.1			
	販売単価	199.6	199.9	199.9	200.0	215.3	217.1			
牛乳	販売個数	120,068	126,050	124,652	136,383	135,045	128,885	36.5	20.2	19.4
	販売個数前年比	96.5	96.4	96.0	95.9	94.2	96.5			
	販売単価	207.1	207.2	207.1	207.3	224.3	226.7			
成分調整牛乳	販売個数	10,701	11,123	10,949	11,921	11,435	10,849	36.7	21.1	17.7
	販売個数前年比	84.5	84.6	84.4	86.7	83.8	81.9			
	販売単価	192.2	192.7	192.8	192.7	208.4	210.4			
加工乳	販売個数	3,206	3,233	3,187	3,507	3,559	3,597	30.8	21.0	10.1
	販売個数前年比	95.6	90.7	89.9	92.7	94.5	100.0			
	販売単価	205.8	209.7	210.5	210.8	222.1	220.9			
乳飲料	販売個数	23,195	24,291	23,848	26,079	27,397	27,228	24.1	13.5	10.0
	販売個数前年比	99.3	98.8	96.8	98.2	104.3	108.0			
	販売単価	163.1	163.9	164.1	163.8	172.9	173.8			

【表② 牛乳類の販売動向(直近の週次動向)】

品目	区分	8.14-	8.21-	8.28-	9.4-	9.11-	9.18-	9.25-	10.2-	23.10.2- 22.10.24 価格差	23.10.2- 23.3.20 価格差	23.10.2- 23.7.24 価格差
		トータル	販売個数	40,414	40,688	41,152	39,712	39,398	39,764	39,356	37,125	33.7
	販売個数前年比	94.7	96.0	97.8	95.9	92.2	100.0	97.1	96.7			
	販売単価	216.3	216.7	216.5	217.2	217.4	217.0	216.9	217.0			
牛乳	販売個数	30,718	30,976	31,251	29,987	29,779	30,065	29,640	28,018	36.4	20.1	18.9
	販売個数前年比	93.9	95.5	97.5	95.2	91.6	99.2	96.6	95.9			
	販売単価	225.6	225.9	225.8	226.8	227.0	226.7	226.7	226.7			
成分調整牛乳	販売個数	2,587	2,592	2,576	2,551	2,487	2,468	2,569	2,336	36.2	21.4	16.9
	販売個数前年比	83.6	84.9	81.8	81.9	77.3	82.9	82.6	81.4			
	販売単価	209.1	209.9	210.0	210.4	210.6	210.8	210.1	210.1			
加工乳	販売個数	817	807	853	830	831	835	861	805	28.2	17.8	7.2
	販売個数前年比	95.1	94.9	99.3	97.0	93.9	103.7	104.8	102.9			
	販売単価	221.6	224.1	220.2	222.0	219.8	221.6	218.8	219.1			
乳飲料	販売個数	6,291	6,312	6,472	6,344	6,300	6,396	6,286	5,965	24.2	14.4	9.8
	販売個数前年比	104.5	104.8	108.1	106.7	103.1	113.1	106.8	107.7			
	販売単価	173.2	173.4	173.7	174.0	174.1	173.6	173.4	174.1			

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):インテージSRI+】







(1)直近の週次動向(表③参照)

直近(10/2週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。

(2)販売個数について、全ての品目で前週(9/25週)よりも減少した。はっ酵乳全体としては引き続き前年を下回る推移となっている。大容量タイプは8月の製品価格改定により、販売単価が上がっている。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売個数については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

品目	8.14-	8.21-	8.28-	9.4-	9.11-	9.18-	9.25-	10.2-
ドリンクタイプ	↓	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
個食タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
大容量タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘

 : 前年比90%未満	 : 前年比105%以上110%未満
 : 前年比90%以上100%未満	 : 前年比110%以上120%未満
 : 前年比100%以上105%未満	 : 前年比120%以上

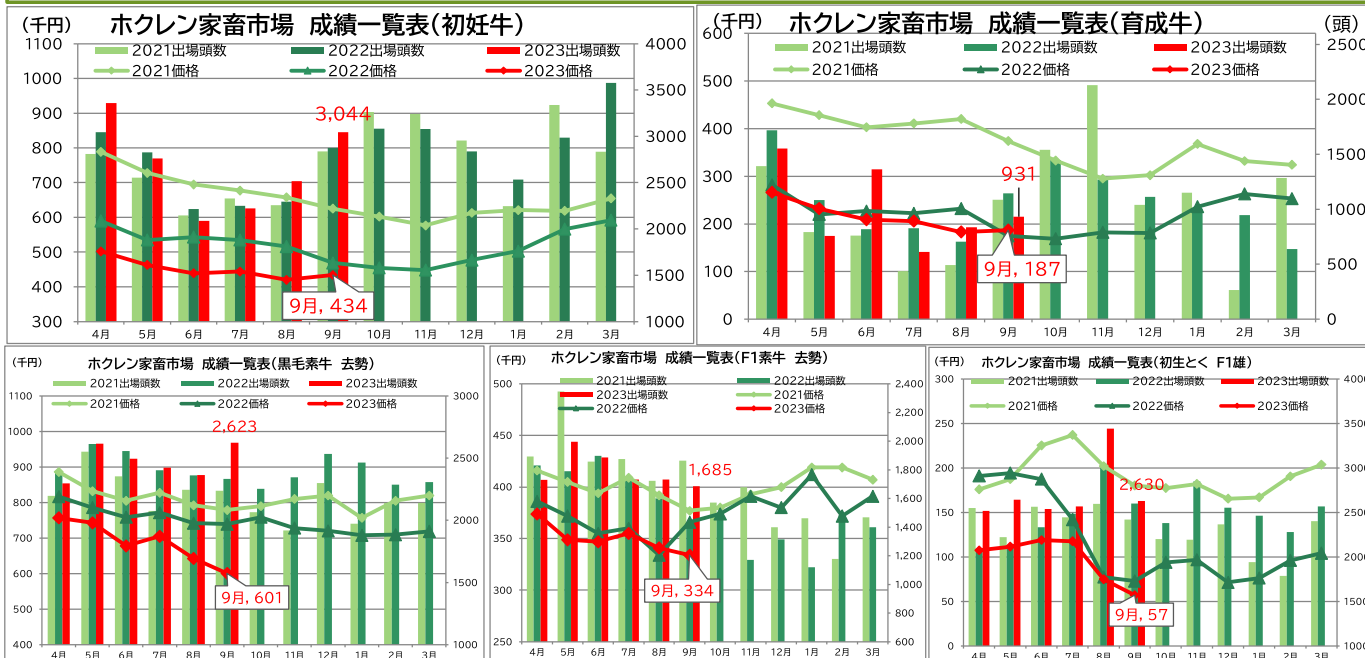
※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

【家畜販売価格動向(税込)】

(1)9月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は434千円(前年同期比92.5%)、育成牛価格は187千円(同106.9%)、和牛素牛(去勢)価格は601千円(同81.2%)、F1素牛(去勢)価格は334千円(同91.3%)、F1初生(雄)価格は57千円(同78.2%)。初妊牛は5ヶ月連続で40万円台となった。F1初生(雄)は2ヶ月連続で10万円を下回った。ホル初生(雄)価格は31千円(同328.0%)となった(グラフ無し)。

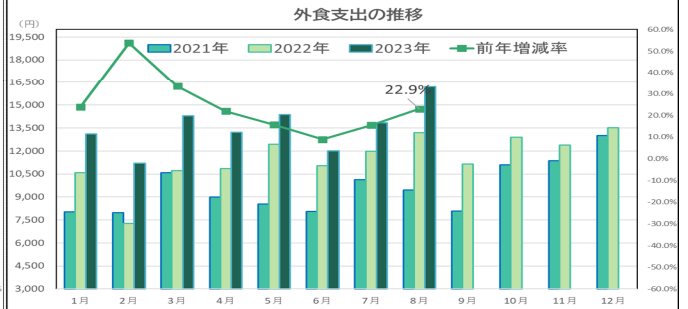
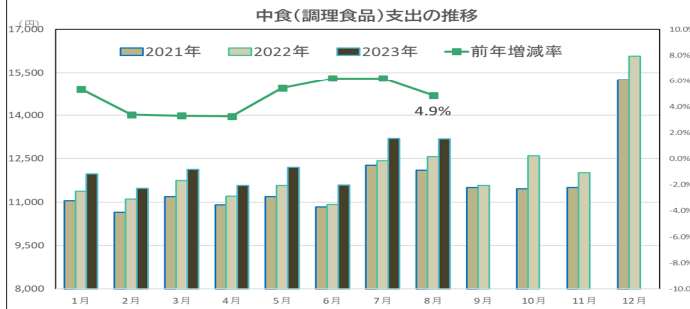
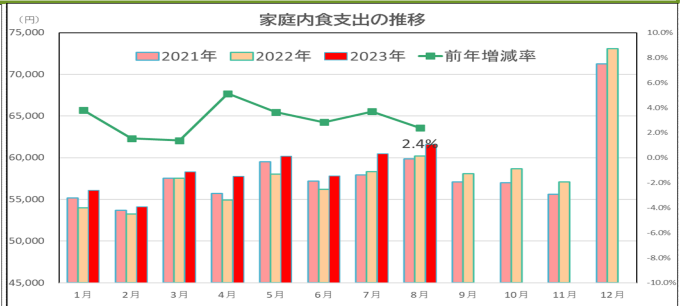
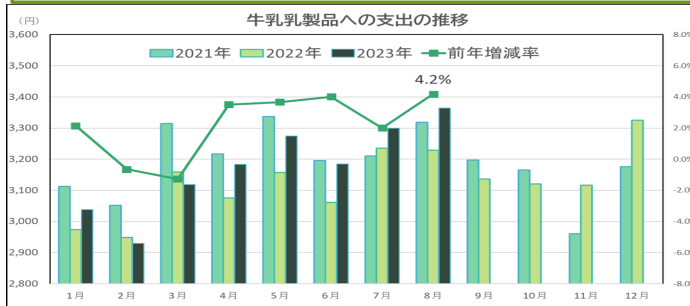
(2)出場頭数(出回り頭数)は、初妊牛:同105.9%、育成牛:同81.4%、和牛素牛(去勢):同112.4%、F1素牛(去勢):同119.1%、F1初生(雄):同101.1%。

※ホクレン家畜市場集計表 速報値(<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)

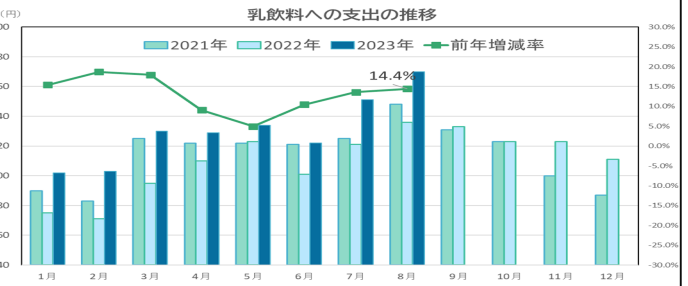
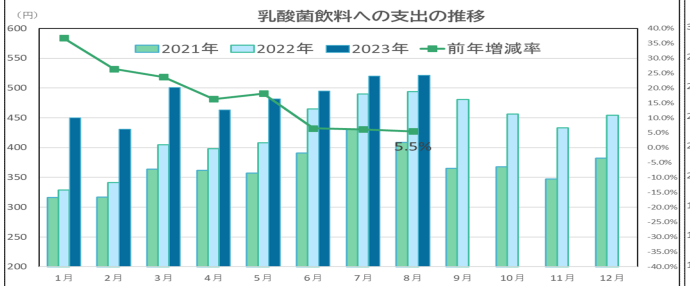
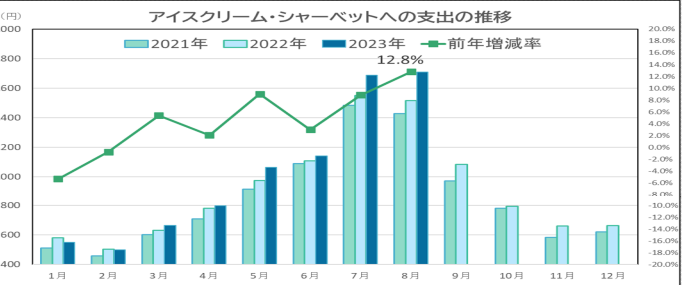
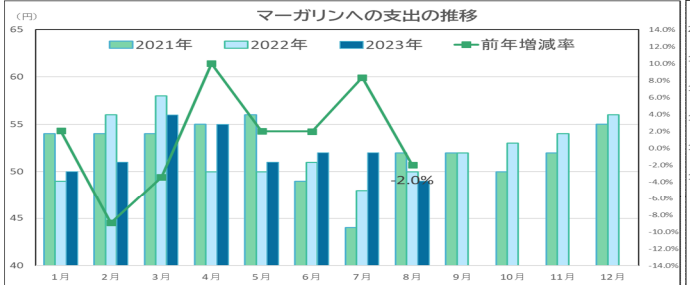
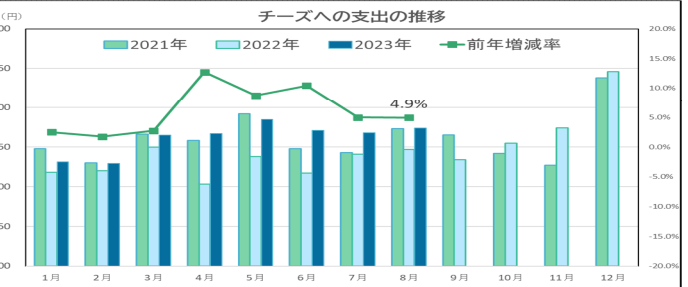
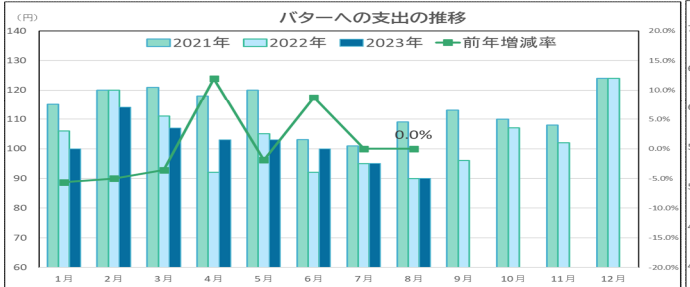
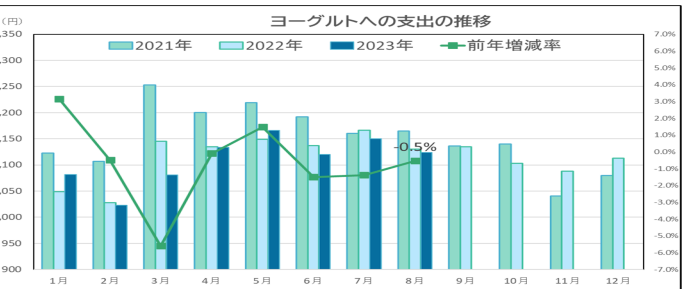
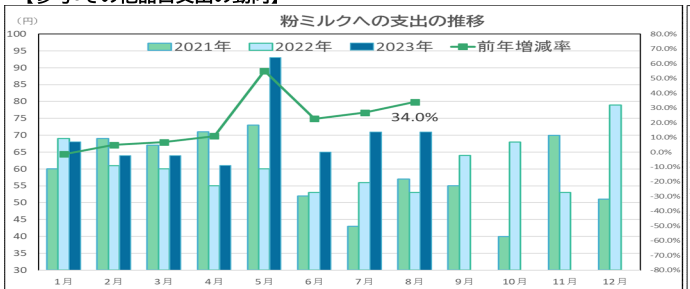


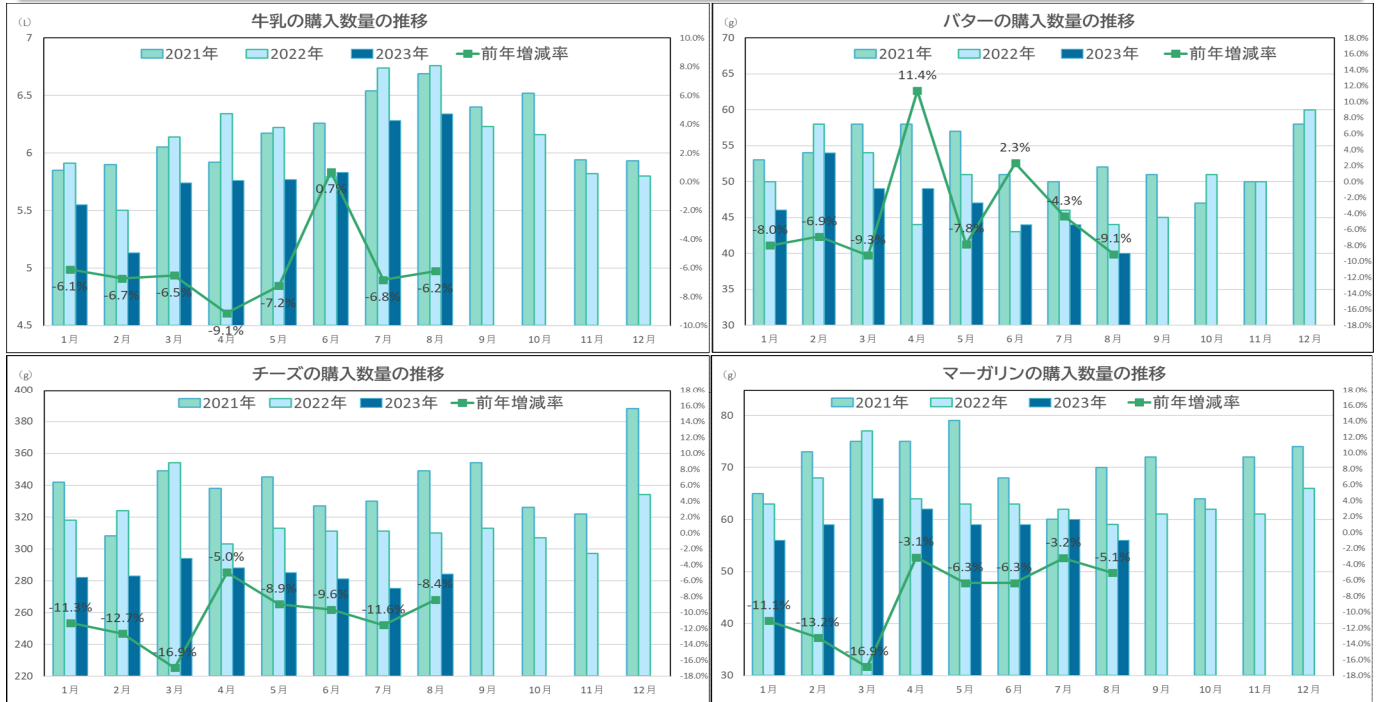
【家計支出の動向】

- (1)8月の支出額前年比について、外食122.9%、中食104.9%、内食102.4%と前年を上回り、食料全体への支出額は105.9%となった。
 - (2)牛乳乳製品の支出額についても、前年を上回った。(牛乳乳製品全体前年比:104.2%、(うち牛乳106.9%、乳製品102.2%))
 - (3)なお、購入量は、牛乳93.8%(1世帯当たり6.34L)と2ヶ月連続で前年を下回った。バター、チーズ、マーガリンについても前年を下回っている。
- ※総務省家計調査(二人以上の世帯。家庭内食は、食料-調理食品-外食で独自に算出)



【参考:その他品目支出の動向】





【乳製品輸出価格の動向】

(1)直近の乳製品国際相場について(9月下旬)

- ・欧州: 脱脂粉乳2,450ドル/ト、バター4,850ドル/ト中心
 - ・オセアニア: 脱脂粉乳2,400ドル/ト、バター4,800ドル/ト、チェダーチーズは4,100ドル/ト中心
- ※出典:米国農務省(USDA)

